

## ○学位論文の審査基準（博士後期課程）

学位論文は、以下の各項目について論文審査及び最終試験（筆記又は口頭）を行うことによって評価し、その結果を総合的に判断して合否を決定する。

### 審査項目

- (1) 本研究科における博士としての十分な専門知識を修得しているか。
- (2) 「研究開発成果を基にした事業化プロジェクトのマネジメントができる研究開発系人材」として活躍する（又はしている）人材であるか。
- (3) 提出された論文は、申請された研究テーマに対して、研究の背景、研究の位置付け、研究目的等が明確に述べられており、地域イノベーション学的な見地から妥当な内容となっているか。
- (4) 論文の記述（本文、図、表、引用、文献表など）が十分かつ適切であり、結論に至るまで首尾一貫した論理構成になっているか。
- (5) 設定された研究テーマに対して、適切な研究方法、調査・実験方法、あるいは具体的な解決手段等が提示され、かつ、研究結果に対して具体的な分析・考察がなされているか。
- (6) 外国語文献読解や外国における調査が必要とされるテーマについては、その文献読解や調査研究に必要な外国語能力が、十分なレベルに達しているか。
- (7) 研究成果について、博士後期課程在籍中に査読システムのある学会論文誌、学術雑誌等に1篇以上の関連論文（国内・国際会議等のプロシーディングスの論文は認めない）が筆頭著者として発行又は採録決定されているか。ただし、関連論文が日本語の場合には、英語で記述された査読システムのある筆頭著者の学術論文(国内・国際会議等のプロシーディングスを含む)が1編以上採録決定していること。